

令和元年度鹿児島市商工業振興プラン推進会議 会議概要

- 日 時： 令和元年8月20日（火）10：00－11：30
- 場 所： 鹿児島市役所みなと大通り別館6階 ソーホーA会議室
- 参 加 者： 委員10名（市産業局長を含む）
- 会 次 第： 1 開会
- 2 協議
- (1) 鹿児島市商工業振興プランの進捗状況について
- (2) 鹿児島市商工業振興プランの成果指標について
- 3 意見交換
- 4 閉会

<協議>

(1) 鹿児島市商工業振興プランの進捗状況について

(委員) 資料3の251「留学生人材確保推進事業」は、こういった業態の企業に訪問する
のか。

(事務局) 留学生に事前アンケートを行い、要望が多かった観光関連施設、ソフトウェア関連
企業、食品加工関連企業を訪問先企業として選定している。

(委員) 資料3の165「クリエイティブ産業創出拠点施設企画運営事業」で実施している
セミナーの内容はどのようなものか。

(事務局) マーケティングで稼ぐ方法や商品をチラシやWebで情報発信する際の写真の撮り方
などについて、専門家の方に話をさせていただいている。

また、クリエイティブな職種の方々同士の交流が新たな展開を生み出す、というよ
うな内容でも話させていただいている。

(会長) 評価が「△」になっている、5「よかもん自慢支援事業」と126「創業者テナン
トマッチング事業」の30年度と今年度の予算額はどのようになっているか。

(委員) 5「よかもん支援事業」は、1件あたり15万円が4件の60万円で、30年度と
同額となっている。

126「創業者テナントマッチング事業」は、30年度新規事業。1件あたり
100万円の店舗改装費を3件分、300万円計上しており、本年度も同程度の件数
を見込み、同額となっている。

(2) 鹿児島市商工業振興プランの成果指標について

(委員) 資料3の評価については、事業を実施、達成することが目的になっていることからほとんどの評価が「○」以上になっており、結果として、施策の中で、出来たものと出来なかったものが見えにくくなっている。

また、資料4成果指標と資料3の各施策の評価について、各施策がどれだけ、対応する指標に寄与しているのかも見えにくい。

(事務局) プランについては令和3年度までが計画期間となっているため、総括時期にさしかかっている。

ご指摘については、次のプランにどう繋げていくかの課題もあるので、今後検討していく上での参考にしたい。

(委員) 個人的には、世界に誇れる伝統工芸が後継などで危機的状況なので伝統工芸に関する支援事業に力を入れていただきたい。

これだけ沢山の事業があるということ、勤務先含め、学生たちが知らない、産業界と自治体も手を取り合っているという事を、若者に知ってもらう事が必要。

単に楽しく参加できるイベント告知だけ、大学に来るのではなくて、やっている事業に対する理解を深める機会をもう少し作らないといけない。

県全体で若者とか社会人の卵までも含めたマインド形成に少しでも機会があれば、影響を与えよう、刺激を与えようという機会が必要と感じた。

また、長期的にみた、指標の中で「街なかりノベーション事業」や「クリエイティブ人材誘致事業」が低い数値になっている。

外部の人材誘致は努力していただいて、起業家マインド、クリエイティブマインドを持って、働こうと思えるような若者を作り出す動きについて、今の内から手を打っておかなきゃいけないと思います。

長期的な展望で掘り起こしを、学校教育のうちから出来るような仕組みづくりをしたいという感想を持ちました。

(事務局) リノベーション推進事業については、29・30年度の2年間スクールを開催し、初年度に24名、2年目に22名の受講生があった。

受講生が有機的に繋がり、連携を取り合っている事業を展開していくという下地が出来つつあり、毎週のようにイベントが開催されている。

今後も新たな取組やイベント等が実現し、鹿児島の魅力が増していくことを期待し

ている。

(委員) 地域志向型科目が各大学で増えているが、その質をあげないといけない。

(会長) 地域に関する科目を行っているが、ただ地域を巡っても大学生としては意味がないので、総論的なところは私たちが講義をして、実際のところについては市の職員の方や商工会議所の方に来てもらって話をしてもらうことで、学生の理解を深めるようしている。

企業立地件数に関連して、新たに立地した企業数の記載はあるが、撤退したところほどのくらいあるか。

(事務局) 平成21年度以降に協定を締結した企業のうち、撤退もしくは廃業した企業は8件。

<意見交換>

(委員) 関係各機関でもそれぞれ多くの事業を実施しているので、連携していきたい。

(委員) 人材確保が商工業を振興するうえで重要。

“人・金・モノ”から“人・人・人”の時代になっている。

東京圏への流入超過データで鹿児島市は全国で13位、他都市同様、女性の方が多く転出している。

女性転出は人口減少に直結する面があるので、今後、人を確保するためには、女性にどれだけ受ける都市づくりをするか、産業づくりをするかが大切な視点になる。

(委員) 鹿児島市が直接実施している事業は4割足らずで、6割以上の事業を関係機関が実施している。

類似事業も多いので、効率的な連携を図ることができれば、さらに事業効果が出てくる。

以上